

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-48	中学校	道徳	道徳	1年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	教科書名		
233 日科	道徳233-72	道徳 中学校1 生き方から学ぶ		

I 編集の基本方針

教科書を通してよりよい未来へ向かおうとする子供たちを支え、夢や希望をもって自身の行く先や、他者とともによりよくあり続ける姿を思い描くことのできる子供たちの育ちを願い、編集しました。

予測困難な時代と社会に、

他者とともに生きていくことの意味や「あり方」を自ら考え、探求する

◎人としての基盤となる、豊かな情操と道徳心を培うために (第1号)

さまざまな見方や考え方を包含する、夢や希望、よりよい生き方を模索することができる題材を通して、生徒各自の課題意識や、多面的・多角的な思索に資する教材を作成しました。

また、教科書編集に際しては、「よりよく生きようとする事」についての見方・考え方を深める学習のための教材を選定し、「考え、議論し、探求する」道徳の授業に資する教科書を目指しました。

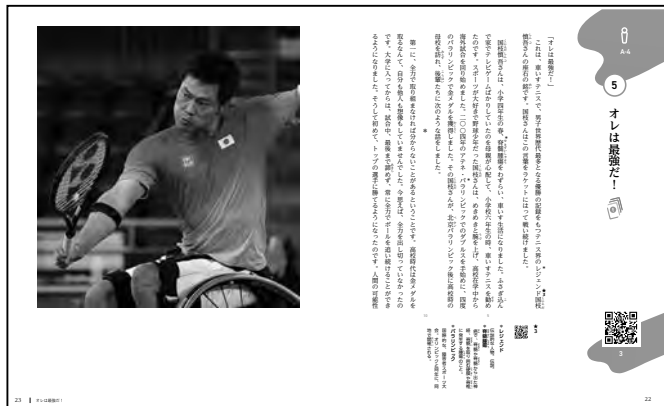
「わたし」からつながる「わたしたち」 ～三つの視点から探究する～



①自分の思い (第1、2号)

—自分の思いはどこにある？—

- 「自由でありたい自分」と「自由にできない自分」など、葛藤を抱える生徒たちの自分自身に対する気づきと、同様な状況にあっても自分とは異なる思い、考えをもつ他者との違いに気づくことができる教材を用意しました。
- 「現代的な課題」でもある情報活用 (SNS) 教材や法・規範意識にかかる教材などを通して、それぞれの考えや判断について話し合ったりします。



1年 p,22 オレは最強だ！



1年 p,17 日常生活のモヤモヤ

②他の人たち (第2、3号)

—他の人たちとどうかわかる？—

- 個のもつ価値や個性を尊重するとともに、相手とのよりよいかかわり方について考えたり気づいたりする教材を用意しました。
- 相手を思う気持ちとはどういうものか、その思いについて自分はどのように考えるか、教材を通してそれぞれの考えや思いを交換したり話し合ったりします。



1年 p,42 朝の地下鉄

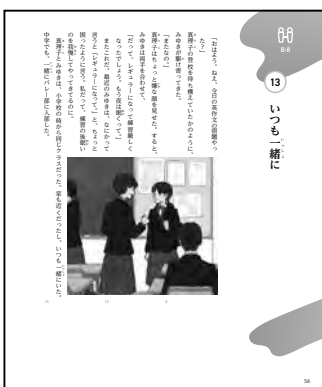


2年 p,41 人とかかわり

③生活 (第2、3、5号)

—生活していく中で大切なことは？—

- 普段の生活は、家族・親類や友達との関係、また学級・学校、地域などの人々やそこにあるルールの中で成り立っていることを理解するとともに、集団や社会の一員としてのよりよいあり方やその姿について、考えを深められる教材を用意しました。
- 「現代的な課題」である「いじめ」や「人権」、社会への参画にかかるとともに、法・規範意識の教材などを通して、それぞれの考えや判断について話し合います。また、郷土の伝統や我が国の文化について、それを受け継いだり創り出したりする人の姿についての見方を広げます。



1年 p,58 いつも一緒に



1年 p,108 分け火



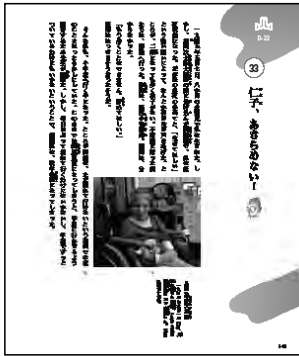
1年 p,116 百の診療所より、一本の用水路を〜中村哲という生き方〜

④命・環境 (第4号)

—みんなの思いと自分の思い—

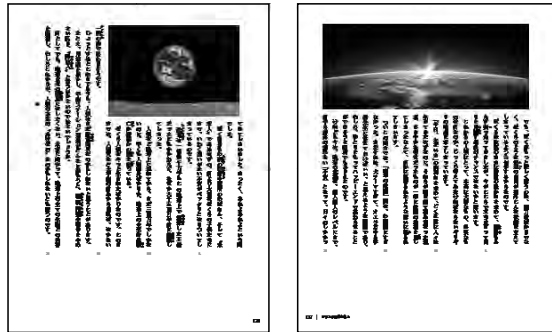
●かけがえのない命を大切に考えるとともに、今の生活環境の中に生きている私たちであることを深く理解し、そのよりよいあり方を考えようとする心と態度を育てる教材を用意しました。

●生徒を取り巻く「福祉」「医療」「自然」などの生活環境から題材を採り上げ、生徒の見方考え方を深めます。



1年 p,144 仁子、あきらめない!

1年 p,136 ガラスの地球を救え



1年 p,132 どうにかできない?
～ペットの殺処分～

生徒一人一人が、

自ら多面的・多角的に深く考え、「よりよい自分」を探究するために

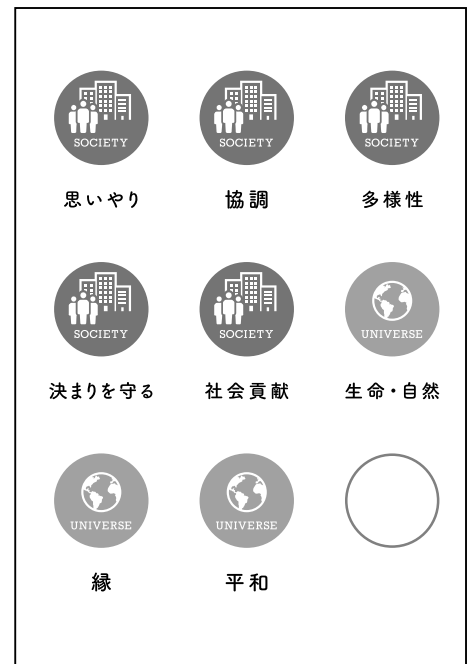
Wellbeing カードの活用 (巻末付録)

自分自身の「よりあり方」は生徒それぞれにあります。

教材に接した時、あるいは考えたいテーマに出会った時、このカードを活用することで、生徒それぞれのその時点の「よりよくあるため」の視点を設定することができます。

そして、そのカードのキーワードからそれぞれの考えや思いを伝え合うことで、同じ物事についての多面的・多角的な見方や考え方を互いに示し合うことができます。

自分の「よりよい」と他者の「よりよい」。この相対的、相互的な関係に気づき、考えを深め、探究しようとする意欲と態度が、明日の社会形成につながります。



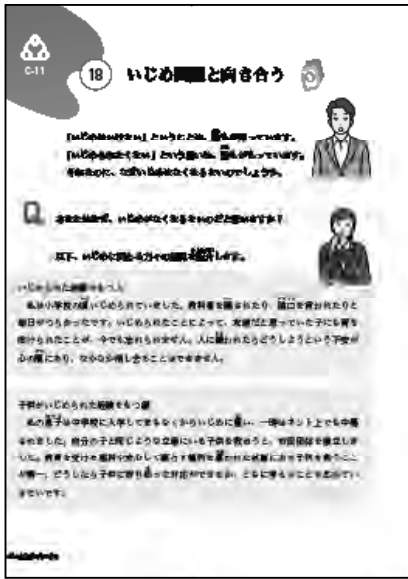
Ⅱ 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
A 主として自分自身に関すること	◎自主、自律、自由と責任 →自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	●自分の行動行為が、自分自身や他者に対してどのような結果をもたらすかを深く考え、判断し、責任のある行動をしようとする態度を養います。(第2号, 第3号)	●稲村さんの苦悩 (p8) ●秋の実力テスト (p12)
	○希望と勇気、克己と強い意志 →より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	●目標に向かう困難や失敗に直面することがあっても、悲観したり挫折したりするのではなく、夢や希望を持ち続けてチャレンジしていこうとする態度を養います。(第2号)	●オレは最強だ! (p22) ●人生と心の在り方 (p28)
B 主として人との関わりに関すること	○思いやり、感謝 →思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	●日々の生活を支えてくれる人々の善意に気づくとともに、その人々に対して何をもって応えていくかを考えることができる豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)	●朝の地下鉄 (p42) ●賢者の贈り物 (p44)
	○友情、信頼 →友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	●共に悩んだり葛藤したりする経験を振り返りながら、それを克服し、より深い信頼と敬愛に裏打ちされた人間関係を築き上げようとする態度を養います。(第1号, 第3号)	●リョウとマキ ~First Love~ (p22) ●いつも一緒に (p58)
	○相互理解、寛容 →自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	●自分の思うところをつたえるとともに、お互いを尊重しながら広い視野に立って、さまざまな物事の見え方があることを理解しようとする態度を養います。(第1号, 第2号)	●席を譲ってはいけないのですか (p 65) ●I'm sorry の行方 (p69)
C 主として集団や社会との関わりに関すること	◎遵法精神、公德心 →法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方を理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	●法やきまりは自分達の生活や権利を守るためにあることを知り、それを遵守したり、よりよい在り方を考えたりするを通して、規律ある安定した社会の形成に参画したり寄与したりしようとする態度を養います。(第3号)	●傘の下 (p74) ●仏の銀蔵 (p78)
	○公平、公正、社会正義 →正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	●いじめや差別・偏見などに対して、同調圧力に流されないで正義を通そうとする自分の意志を強くもったり、公平で公正な社会の実現に参画したり寄与したりしようとする態度を養います。(第3号)	●いじめ問題に向き合う (p82) ●未来を創るために ~マララ・ユスフザイ「国連スピーチ」~ (p84)
	◎社会参画、公共の精神 →社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	●自分自身がどのように社会に参画し、どのように連帯すべきかを深く考え、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与しようとする態度を養います。(第3号)	●天地と共に ~二宮尊徳~ (p88) ●誰のためにするのだろう (p92)
	◎勤労 →勤労の尊さ意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	●社会における自らの役割や将来の生き方について考えるとともに、職業と生活との関連を見つめ、勤労の尊さを考えながら社会に参画し、寄与しようとする態度を養います。(第2号, 第3号)	●中央市場は働いている (p96)
	◎郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 →郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	●地域の人々との人間関係を見つめ、地域の実態を把握したり郷土の文化や先人の業績に対する認識を深めたりして、進んで郷土の発展に努めようとする態度を養います。(第5号)	●分け火 (p108)
	◎我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 →優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家及び社会の形成者として、その発展に努めること。	●我が国固有の伝統や文化を尊重し、それをはぐくんできた我が国を愛するとともに、それを継承し、新たな文化を創造したり発展させたりしようとする意欲と態度を養います。(第5号)	●マダム・バタフライ ~森英恵~ (p112)
	◎国際理解、国際貢献 →世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	●他国の文化や伝統を知り、それを尊重するとともに、国際社会における共生と平和と発展に、日本人としてどのように寄与することができるかを考えようとする態度を養います。(第5号)	●百の診療所より、一本の用水路を ~中村哲という人間の生き方~ (p116)
D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関する	◎生命の尊さ →生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	●生命あるものは互いに支え合って生き、また生かされていることを知り、その尊さに気づくとともに、命の偶然性や有限性、連続性を知ることを通して、生命のかけがえのなさについての考えを深めようとする態度を養います。(第4号)	●誰かのために (p128) ●どうにかできない? ~ペットの殺処分~(p132)
	◎よりよく生きる喜び →人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	●人間の心が併せもつ弱さや醜さ、強さや気高さについて知り、それに正対しつつ、自分自身の心を奮い立たせることによって、目指す生き方や誇り高い生き方に近づこうとする豊かな情操と態度を養います。(第1号)	●仁子、あきらめない (p144) ●ネパールのビール(p148)

Ⅲ 上記以外に、特に意を用いた工夫

教育基本法第5条第2項及び学校教育法第21条に則り、道徳科で扱う内容項目等の効果的な学習を保証し、生徒の具体的な学習への取り組みを促すため、以下の工夫をしました。

- 各視点に関わって考えを広げることができる四コマ漫画の扉を配置
- 課題を焦点化し、課題についての話し合いをしやすくする漫画教材の導入



1年 p.82 いじめ問題と向き合う

- 「いじめ防止」の課題に取り組む

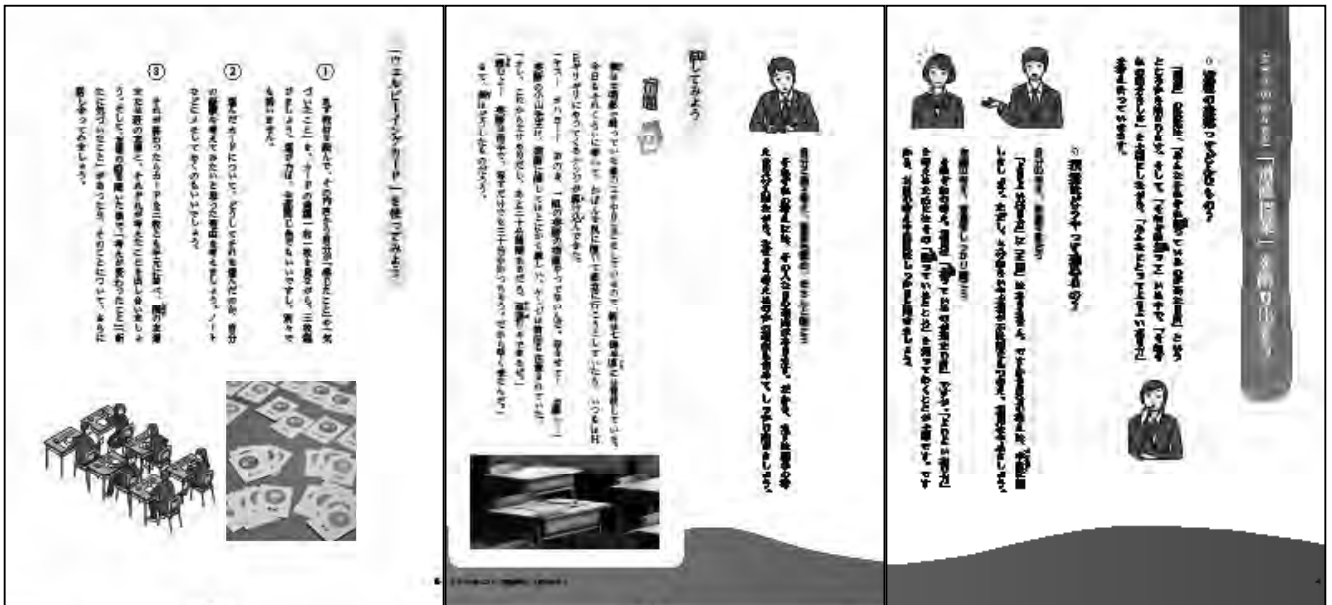


1年 p.41 人のかかわり



1年 p.78 仏の銀蔵

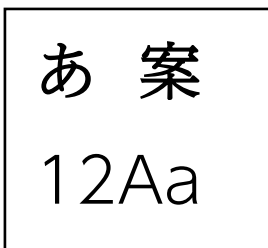
- 道徳授業の基盤となる「ガイダンス」ページ



1年 p.4 クラスみんなと「道徳授業」を創り出そう

- UD フォントなど、ユニバーサルデザインに配慮した紙面

教科書本文についてはUDフォントを用い、誰もが見やすくなりやすい教科書にしました。



- 国内各地の自然・文化・人を紹介し、郷土学習に資する折込資料

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
105-48	中学校	道徳	道徳	1年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	教科書名		
233 日科	道徳233-72	道徳 中学校1 生き方から学ぶ		

I 編修上特に意を用いた特色

生徒同士の対話を通して、他者とともに生きる「よりよいあり方」を探究する

— Wellbeing に向かう「道徳」のために —

読解中心の授業から思考中心の授業へと転換を図り、

生徒主体の対話型の授業を意識するとともに、

以下の四つの視点から、「わたしたち」のよりよいあり方を考え、探求することを目指しました。

〈1年〉

- ①自分の思い
- ②他の人たちと
- ③生活
- ④命・環境



自分自身を取り巻く世界の中で、自分もその世界の当事者であり、他者に対してプラスの影響を持つ存在であることに気づき、「よりよいあり方」を探究する。

◎何を学ぶか

自分自身とのかかわりの中から社会や世界を視野に捉え、人と人、「わたしたち」の「よりよいあり方」を学ぶ

情報

いじめ

生命

未来

◎どのように学ぶか

身の回りの人たちとのかかわりの中にある、「自分」と「相手」との相対的、相互的な関係について、生徒同士の対話を通して気づいたり考えたりする

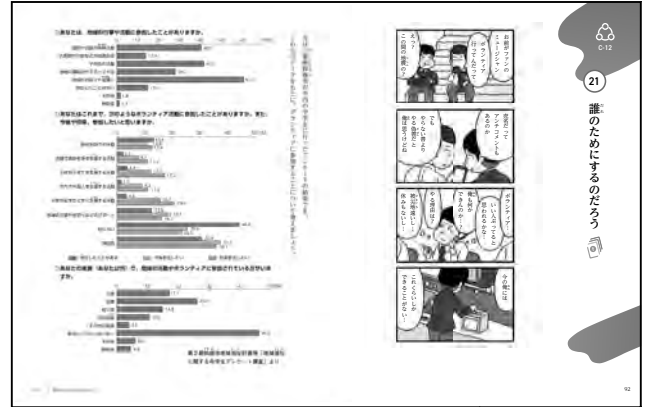
8 自由ってあなた

◎何ができるようになるか

自分自身から同心円的に広がる世界の中で、その時々において、自分自身もプラスの影響をもつ存在であること、および、さまざまなレベルの集団における「当事者」であることに気づく



p.136 ガラスの地球を救え



p.92 誰のためにするのだろう

★ 学びを広げ、深めるために

巻末折込



教科書の観点別特色

教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の要となる特別の教科としての位置付けから、教育基本法第2条第1号から第5号までの全てを網羅し、その理念を全うすることを大前提として編集されています。
学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校学習指導要領（特別の教科 道徳）に示された目標に則り、全ての内容項目の指導に最適な題材を用意しています。 ●中学校学習指導要領（総則）に示された、「指導内容の重点化への配慮」を受けて、重点化を図る内容項目については十分に吟味した教材を配置しています。
内容・系統	<ul style="list-style-type: none"> ●本教科書には、生徒の道徳的価値への自覚を促す多彩な読みもの教材やワーク教材等が用意されています。また、改正学習指導要領総則にある重点項目については十分に内容を吟味し、掲載しています。 ●発問には「考えよう」「深めよう」と示し、学習活動が端的に分かる工夫をしています。 ●本教材以外にも、道徳的価値に迫るための折込ページを設け、我が国、郷土の伝統文化を中心に取り上げています。
配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●読み取りの偏重から脱却し、「考え、議論し、探究する道徳」授業への転換を図りやすいように工夫しています。 ●ガイダンス教材を含む35教材を設け、年間35時間分の道徳授業を保障しています。 ●各学校の年間指導計画に拠ったカリキュラム編成がしやすいように、視点別内容項目順に教材配列をしています。
「資質・能力」育成の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ●「個別の知識・技能」については、各内容項目ごとに設置した道徳的価値に迫るための活動場面において、生徒の個々の経験や現状を確認できるように配慮しています。 ●「思考力・判断力・表現力等」については、各発問に伴う言語活動として設定し、「道徳的課題に注目する発問」「課題についての見方を広げたり考えを深めたりする発問」、「大事なことを自分自身のこととして見つめる発問」等のそれぞれの場面で発揮できるようにしています。 ●「学びに向かう力、人間性」については、各教材の発問「深めよう」において、自らのこれからの在り方を考える場面を設定しています。
学習方法・授業展開への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の冒頭に「ガイダンス」教材を配置し、道徳学習の進め方、振り返り、小教材による演習を設定しています。 ●各教材の発問には、「考えよう」「深めよう」を置き、学習活動を明確に提示しています。
問題解決的、体験的な活動の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ●問題解決的な学習、体験的な活動については、教材の特性に合わせて発問や展開を工夫しています。
「いじめ」問題の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ●各学年ともに、特に「公正、公平、社会正義」の内容項目においては意識的に教材を選定し、いじめにつながる問題に正対して考えるように配慮しています。また、それ以外の内容項目においても、生徒の学校生活の中で陥りやすい場면을積極的に取り上げ、常に気をつけなければいけないこととして認識できるようにしています。（「いつも一緒に」「いじめ問題に向き合う」）
「伝統・文化」の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ●長く親しまれ、続いてきた伝統文化とともに、意識的に守り続け価値づけていく伝統文化を取り上げ、文化の担い手としての意識を高める教材を配置しました。（「分け火」巻末付録「わたしたちの郷土」）
現代的な課題の取り上げ方	<ul style="list-style-type: none"> ●【情報モラルの問題】各学年に、情報モラルの問題を過不足なく扱っています。（「情報の光と闇 ～ファクトチェック～」） ●【生命尊重】「命」のありようについてしっかり認識できるように扱っています。（「誰かのために」） ●【キャリア教育】キャリア形成について認識し、考えさせる教材を選定しました。（「パーソナリティー」ほか） ●【SDGs】持続可能な発展に関わる題材についても留意して取り上げ、グローバルな見方・考え方ができる教材を導入しています。（「百の診療所より、一本の用水路を」）
他教科と実生活との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●全ての教科の基盤となる、互いを尊重し合い関係を深め合う学級集団形成につながる「ガイダンス」ページを、各学年冒頭に設置しています。 ●国語、社会、理科、家庭、音楽など、他教科と関連する題材を積極的に取り入れています。 ●特別活動と関連して、学校行事をはじめ、学校以外でのボランティアなどの集団活動に関わる教材を取り入れています。 ●学校生活や家庭生活における日常の場面、近隣や地域の人々との関わり等を多数取り入れ、生徒が現在の生活を見つめたり、これからの生活を考えたりすることができるよう配慮しています。
ユニバーサル・デザイン、特別支援教育との関連	<ul style="list-style-type: none"> ●カラーユニバーサルデザインの観点から、全ページにわたり配色とデザインに十分な配慮を施しています。 ●本文の主体文字にはUDフォントを用い、視認性と読みやすさの向上を図っています。 ●中学校配当漢字と常用外漢字及び固有名詞等についてはその都度ルビを付け、生徒の読みの負担を軽減しています。
文字・印刷・造本等	<ul style="list-style-type: none"> ●環境への配慮から、環境に配慮した紙と植物油インキを用いています。 ●読みやすさの向上のために、紙面の広いA B判を採用するとともに、堅牢性を向上させた無線綴じで製本してあります。

Ⅱ 対照表			
図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう	(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	p.4-6	1
A 自分自身と向き合う			
1 稲村さんの苦悩	(1) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	p.8-11	1
2 秋の実力テスト		p.12-15	1
3 日常生活のモヤモヤ	(2) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。	p.16-17	1
4 パーソナリティー	(3) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	p.18-21	1
5 オレは最強だ!		p.22-27	1
6 人生と心の在り方 ～稲盛和夫～	(4) より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	p.28-31	1
7 情報の光と闇 ～ファクトチェック～		p.32-35	1
8 自由ってなあに	(5) 真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。	p.36-40	1
B 人とのかかわり			
9 朝の地下鉄	(6) 思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	p.42-43	1
10 賢者の贈り物		p.44-47	1
11 行為に込められた思い	(7) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	p.48-51	1
12 リョウとマキ ～First Love～	(8) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	p.52-57	1
13 いつも一緒に		p.58-64	1
14 席を譲ってはいけなのですか	(9) 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に学びね自らを高めていくこと。	p.65-68	1
15 I'm sorry の行方		p.69-72	1
C 集団や社会とのかかわり			
16 傘の下	(10) 法や決まりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努めること。	p.74-77	1
17 仏の銀蔵		p.78-81	1
18 いじめ問題と向き合う	(11) 正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	p.82-83	1
19 未来を創るために ～マララ・ユスフザイ「国連スピーチ」～		p.84-87	1
20 天地と共に ～二宮尊徳～	(12) 社会参画の意義と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	p.88-91	1
21 誰のためにするのだろう		p.92-95	1
22 中央市場は働いている	(13) 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献すること。	p.96-99	1
23 エンジェルは優しい味	(14) 父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	p.100-103	1
24 泉のおきて	(15) 教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくることとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。	p.104-107	1
25 分け火		(16) 郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	p.108-111
26 マダム・バタフライ ～森英恵～	(17) 優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献するとともに、日本人としての自覚をもって国を愛し、国家および社会の形成者として、その発展に努めること。	p.112-115	1
27 百の診療所より、一本の用水路を ～中村哲という人間の生き方～		p.116-120	1
28 海と空	(18) 世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	p.121-126	1
D 自然や崇高なものとのかかわり			
29 誰かのために	(19) 生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	p.128-131	1
30 どうにかできない? ～ペットの殺処分～		p.132-135	1
31 ガラスの地球を救え	(20) 自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	p.136-139	1
32 ほっちゃんれ	(21) 美しいものや気高いものに感動する心もちね人間の力を越えたものに対する畏敬の念を深めること。	p.140-143	1
33 仁子、あきらめない!	(22) 人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きること喜びを見いだすこと。	p.144-147	1
34 ネパールのビール		p.148-152	1
付録			
わたしたちの郷土	全般	p.153-155	
			計 35